

農業情報総合研究所／有機農業レポート「熱田農園」(匝瑳市)

「無農薬無化学肥料農業の継承」

熱田農園さんは匝瑳市で露地とハウスで野菜を栽培するとともに、水田の耕作を行っています。畑と水田は分散しており、面積は合計で2.7ヘクタールです。畑が1.2ヘクタール、水田1.5がヘクタールです。海岸から2キロメートル、海拔は5メートルです。砂地に水田と植木業がひろがっている地域です。水田は兼業農家が耕作しています。その中で、熱田農園さんは専業、無農薬無化学肥料、野菜を少量多品種（年間60品目）で栽培しています。2023年6月11日、訪問しました。

最初にご案内いただいた畑は近隣の住宅に囲まれています。面積は50アールですがテトリスの落ちてくるブロックみたいな形状です。露地できゅうり、つるいんげん、ぼっちゃんかぼちゃ、枝豆、落花生、とうもろこし、ハウスでミニトマト、ぶどうなどが栽培されていました。ネギも栽培されています。こちらは砂地に向きます。

次にご案内いただいた畑では、おくら、なす、モロヘイヤ、里芋を栽培されていました。「土の付く野菜はお客を選ぶ」、「普段お料理をしていたり、野菜への知識があったりする、ある程度のレベルが必要ではないか」というお話しをされていました。この畑の隣りは水田になっています。面積は60アールほどです。コシヒカリともち米を耕作しています。

熱田農園さんの販路は個人客への宅配がほとんどになります。無農薬無化学肥料の農業を始められたお父さんの後を継ぎました。当時は消費者グループが熱田農園さんで生産された農産物を購入していました。消費者グループで援農も行っていました。いわゆる、有機農業の第一世代による産消提携です。現在、お客は年齢層が高くなり、お客からの口コミによる紹介も難しくなっています。有機農業の第二世代として、ネットの販路やSNSを活用した新規の顧客獲得について模索をされています。また、今の時代のお客に合わせた、野菜セットの量と価格についての調整もされています。

